

コマツNTC株式会社

創 立：1950年
業 種：製造業

事業内容：工作機械、産業機械の開発・設計・製造・販売（電池製造関連装置、画像処理関連装置、半導体・各素材向けウェーハ製造装置、スマートFTL、マシニングセンタ、研削盤、クランクシャフト加工機など）

従業員数：1,183名

所 在 地：富山県南砺市福野 100

URL：https://ntc.komatsu/



南砺市で、国内外の自動車業界や半導体業界に欠かせない生産設備を製造し、最近ではEV化に伴う電池製造関連装置の製造などにも参入しているコマツNTC株式会社。働き方に関する取組みや、2021年に導入された「不妊治療休職制度」等について、総務部の落合課長、長谷川主任、堀池主任にお話を伺いました。

休みを取得しやすい環境で仕事と家庭の両立を支援

弊社では、仕事と家庭の両立を支援するためには、社員の生活に起こりうる様々な状況に対応できるようにすることが重要であると考えています。このため、休暇制度については、年次有給休暇とは別に年間5日付与されるライフサポート休暇、私傷病等に対応する休職制度、育児や介護による休業制度、配偶者の転勤時に最大3年まで帯同可能な休職制度などを整えています。特に育児に関する制度においては、女性だけでなく男性も育児休業を取得しやすい職場環境整備のために、総務担当と職場上司が連携して、対象者に**制度詳細を説明する時間**を設けています。

年休については会社からも取得を推奨しており、**年間最低18日取得**を目標としています。取得にあたっては、状況により見直し可能な「年休取得計画」を各部署で作成しております。それにより、製造部門では班単位でスケジュール調整ができ、**互いに仕事を補えるサポート体制**も整えられるため、安心して年休を取得することが可能となり、**仕事と家庭の両立がしやすい環境**になっていると思います。

制 度	内 容
休暇制度	・年休：半日単位で取得可能 ※年休取得目標：年間18日取得（年間20日付与） ・ライフサポート休暇：毎年5日付与、最大40日まで保有可能 私傷病・不妊治療・妊娠出産（配偶者含む）・子の養育・家族介護時に使用可能 ・リフレッシュ休暇 等
休業制度	・育児/出生時育児休業（産後パパ育休） ・家族介護休業
休職制度	・配偶者転勤帯同休職 ・不妊治療休職 ・私傷病休職
その他の制度	・フレックス制度：コアタイムなし ・在宅勤務制度 ・短時間勤務（育児・家族介護・私傷病）等

身近な存在になりつつある不妊治療

近年、不妊治療件数は増加傾向にあり、社会的な要請が高まっています。弊社では今までそういった治療の際、年休やライフサポート休暇での対応となっていました。しかし、不妊治療は投薬による体調不良が発

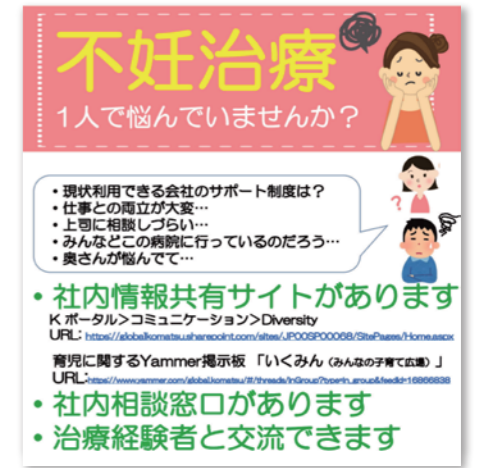
生したり、急な通院が必要になったりと、治療が突発的かつ長期に渡ることもあり、社員に大きな負担がかかる場合もあります。社員のキャリアと不妊治療を両立させるための**選択肢を提供することで、社員の勤続に対する意欲向上を図ることを目的**として2021年より不妊治療休職制度を導入しました。



キャリアを継続しつつ不妊治療を行なってもらうために

不妊治療休職制度は、入社1年以上で、休職基準に該当する不妊治療を受け、不妊治療休職終了後も引続き勤務する意思のある社員を対象に、一人につき1回取得できます。原則として分割取得はできませんが、不妊治療の通院日数や治療回数を考慮し、**最大で1年間休職**できます。

この制度を取得した社員はまだいませんが、各部署の管理職には部下から不妊治療休職の相談があった場合のマニュアル「仕事と不妊治療の両立に向けて」を配布しています。取得に伴う体制作りやその間の処遇の説明や調整などの**ガイドラインを整備**しており、社員が必要な時に**安心して制度取得**できるように努めています。



安心・安全に働ける環境を

このような取組みは、総務のカウンターパートである労働組合から様々な**社員の声を集約**して**くみ取り**、会社がどのような方向に進むべきか、労使双方で協議しながら社員のワークライフバランスの充実を図るよう進めています。

コマツグループ全体としても、会社の発展には**社員の雇用を安定**させることが不可欠であり、人材を欠かすことはできません。その人材が今後もキャリアを継続し、**安心・安全にいきいきと長く働ける職場環境**を整備すること、社員へ状況に応じた柔軟な働き方ができる制度を提供することが会社の務めと考えています。

人材は企業成長のかなめ

現在、新卒者や経験者の採用においては、求職者が会社に求める評価基準として、**休暇制度の充実度や柔軟な勤務体制**が求められる傾向にあります。優秀な人材の採用は、企業として成長のかなめとなります。人事の諸制度をさらに進化させ、**将来の変化にも順応**していくために、フレックスタイム制・在宅勤務制度の成熟を図り、誰もが活躍できる会社の体制を強化していきます。

また、階層別教育や各種技術者教育などの教育プログラムを充実させ、各業務部門でのエキスパートの育成を目指します。

社員が**働きやすい環境**でなければ**会社の成長は見込めません**。まずは**安心・安全を第一**とし、福利厚生**の充実**を高めて、足腰のしっかりとした強い会社にしていきたくと思っています。